

主任  
リーダー研修  
報告

2年目の今年も多数のご参加をいただきました。

## 2013年 主任・リーダー研修

2013年3月25日～26日 ©ルビノ京都堀川

昨年から新たに開催した「主任・リーダー研修」は好評をいただき、第2回となる今年も約40名の主任・リーダーが参加されました。

「設置者・園長・後継者研修」「教員研修」「新任教師ゼミナール」と合同で行われた基調講演・特別講演後、会場を移動していよいよ「主任・リーダー研修」が始まりました。

最初の研修は

美作大学生活科学部児童学科准教授の廣瀬聡弥先生による「子どもの協同の知を考える」をテーマにした講義で、自園の教育内容や子どもの発達過程、育ち、学び等についてを考え、保護者にどのように伝えるかについて、自身が幼稚園の副園長をされた現場経験から、具体的なお話をいただきました。

夕食後の「アプローチが変われば、後輩・園長との関係が良好になる！」と題して、当会の研修ではおなじみになった、臨床発達心理士・学校心理士・エンパワーメントコミュニケーションカウンセラーの甲木有紀先生の研修では、自分の理想とするリーダー像に近づくために自己理解を深めるグループワークを行いました。また、自分のサブパーソナリティーを知る方法としてSPランプという52種類の性格、特徴を表したカードを使いながら自己分析を行いました。自分の性格や特徴を正しく理解した上で、理想のリーダーを目指すために具体的な行動実践を行っていくことが大切だと述べられました。

2日目は「主任だからこそ身につけたい！近道敬語講座」のテーマでビジネスマナー講師の藤村純子先生による研修が行われました。主任は保護者に



とって相談事の窓口であり、園長と担任教諭の架け橋役でもあり信頼関係を築くために必要な印象の整え方や話し方、表情や態度の作り方、敬語トレーニングなど、3時間にわたりグループワークを交えながら実践的な研修が行われました。

午後からは株式会社リール代表・生涯学習開発財団プロフェッショナルコーチの

孫ちょんす先生による「後輩を育てる」の講義がありました。

主任の仕事の一つに、後輩の先生を一人前に育てるという大事な仕事があります。これはなかなか難しい事ですが、コミュニケーションを手がかりに、後輩が自らやる気を持って、育って行くためのヒントをお話しいただきました。

研修の締めくくりは「現役主任・リーダーが語る」として、エルアン幼稚園（佐賀県）の川崎恵子先生、相知エルアン幼稚園（佐賀県）の脇山知子先生、やまなみ幼稚園（大阪府）の今村春菜先生の3名の現役主任が、自身の主任としての経験談を発表されました。

受講者の先生方も同じ立場の先生からの成功体験、悩み、課題などに熱心に耳を傾けられておられました。

最後に、まとめとして田中文昭先生（当会理事・やまなみ幼稚園園長・大阪教育大学他非常勤講師）から「信頼される主任・リーダーとなるためには…」のテーマで、教職員から信頼される主任として、自らの役割を理解し、実行することが必要であること、また、仕事に対する考え方についてお話を頂きました。

今回も「主任・リーダー研修」では講師の先生方のご協力によりグループワークの時間を多く設けていただいたり、参加者による実践発表、各講座の司会などにより、実践的な研修が行えるようにと参加型の研修を多く取り入れました。また経験年数に違いはあっても同じ立場である受講者同士、共通の課題認識を持って受講して下さり、情報交換のいい機会となったと終了後のアンケートでも評価をいただきました。是非、次年度も多くの先生がたのご参加をお待ちしております。